

製品名: PAX8 マウスモノクローナル抗体

カタログ番号: AMM80905

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	60kDa

抗原情報

遺伝子名	PAX8
別名	PAX8
遺伝子 ID	7849.0
SwissProt ID	Q06710
免疫原	大腸菌で発現したヒト PAX8 の精製された組み換え断片。

背景

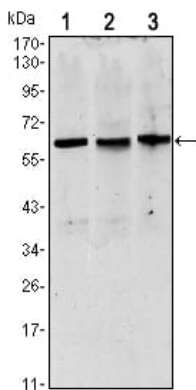
この遺伝子は、ペアボックス（PAX）転写因子ファミリーのメンバーをコードします。この遺伝子ファミリーのメンバーは、通常、ペアボックスドメイン、オクタペプチド、およびペア型ホメオドメインを含むタンパク質をコードします。この核タンパク質は、甲

甲状腺濾胞細胞の発達と甲状腺特異的遺伝子の発現に関与しています。この遺伝子の変異は、甲状腺形成不全、甲状腺濾胞癌、および非典型濾胞性甲状腺腺腫と関連付けられています。組織特異性：排泄器官、甲状腺、およびウィルムス腫瘍で発現します。ABCAM：このタンパク質は、ペアボックス (PAX) 転写因子ファミリーのメンバーであり、通常、ペアボックスドメイン、オクタペプチド、およびペア型ホメオドメインを含みます。このファミリーは、胎児の発達と癌の増殖において重要な役割を果たします。PAX8の具体的な機能は不明ですが、腎細胞分化、甲状腺の発達、あるいは甲状腺形成不全に関与している可能性があります。エクソン 7 および / または 8 の挿入または除外による遺伝子の選択的スプライシングにより、いくつかの既知の産物が生成されていますが、それらの変異体の生物学的意義は不明です。他にもいくつかのスプライスバリエントが提案されていますが、これらの産物の完全な性質は解明されていません。Pax8 は耳前駆細胞のマーカーでもあります。

研究分野

MAPK シグナル伝達経路

画像データ



Hela (1)、HEK293 (2)、Raji (3) 細胞溶解物に対する PAX8 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。